

## 国産材利用推進事業

10月31日に東京都港区と「間伐材を始めとした国産材の利用促進に関する協定」を締結しました。

この制度は、港区内での建築主に対し、協定自治体の国産材の一定量以上の使用を義務付けたもので、港区内の二酸化炭素固定量の増加と、協定自治体の森林整備促進による二酸化炭素吸収量の増加により、地球温暖化防止に貢献することを目的にしています。

今後、事業者の積極的な参加により、港区内への新たな販路拡大や木材関連事業への波及効果、間伐等の実施による森林整備の促進に期待します。



港区役所での調印式

## 企業誘致の状況等

北海道旭川市に本社を置き、植林から伐採、住宅の設計・施工までの一貫した自社管理で、海外との取引もある総合木材企業「昭和木材」が、松木境に東北支店・東北プレカット工場を11月1日から操業開始しました。

操業時の従業員数は16人、将来的には24人まで増員する計画です。

市では、11月1日付けで条例に基づく指定工場として指定し、今後、同社

の業務拡大と地元秋田杉の販路拡大を期待しています。

10月1日の調査時点で、条例に基づく指定工場は63事業所で、従業員数は4415人となり、昨年同期比で9人減となりましたが、11月にはニプロ第6工場、昭和木材東北プレカット工場、サンテックス比内ファクトリー、東北センバ大館工場の4社4事業所が指定工場となり、更に来年4月までに、ニプロファーマのバイオ製剤棟・抗がん剤棟・物流棟、福山通運大館配送センターの2社4事業所が指定工場になる見込みで、合わせて60人を超える雇用の創出が図られると期待しています。

## 本場大館きりたんぽまつり in 大館樹海ドーム

10月13、14日の両日、会場を樹海ドームに移して行われた「本場大館きりたんぽまつり in 大館樹海ドーム」が盛会のうちに幕を閉じました。

2日間の来場者数は8万6千人で、目標の8万人を大きく上回り、前売券の販売は約1万1千枚を数え、6万食のきりたんぽが消費されました。

コンビニエンスストアで購入された前売券をエリア別に分析した結果、市内が23・6%、秋田市が22%、県



きりたんぽ本焼き

北が13・1%、県中央及び県南が8・3%、青森県が24・8%、その他が8・2%となり、秋田市と青森県を重点地域としてPR活動を行った成果が、反映されたものと考えています。

## 総合病院内コンビニエンスストアの開店

11月30日から正面玄関上階にコンビニエンスストア「ファミリーマート」が営業を開始しました。

総合病院内売店の充実が目的で、新しい売店は年中無休、7時から21時までの営業時間、店内ATM、各種チケットの取り扱い、コイン式コピー機設置など、一般的なコンビニエンスストアと同様のサービスを提供するほか、入院用品、衛生・介護用品なども取り扱うことから、患者さんやお見舞いに来られたかたなどの利便性向上に寄与できるものと考えています。



## 公共事業の進捗状況

11月末における主な事業の進捗状況

- ・ 農業関連
  - ・ 比内地鶏鶏糞処理施設建築工事20%
  - ・ 3月下旬の完成予定
- ・ 農業集落排水事業の餌釣及び山館地区処理施設の機械設備更新等 40%

## 道路関連

- ・ 釈迦内松木立花線等「社会資本整備総合交付金事業」 70%
- ・ 有浦二ツ屋区画2号線等「狭あい道路整備等促進事業」 60%

## 教育関連

- ・ 中央公民館エレベーター設置工事85%
- ・ まちづくり関連
- ・ 御成町南地区土地区画整理事業75% (前年度繰越分を含む)

- ・ 小柄沢墓園造成事業 50%

## 水道関連

- ・ 観音堂地内配水管布設工事 38%
- ・ 御成町二丁目ほか配水管布設工事85%
- ・ 中山取水場及び山館浄水場自家発電機設置工事 88%

## 下水道関連

- ・ 公共下水道工事(本管理設) 50% (大館地域有浦三丁目等、比内地域味噌内地区、田代地域茂屋地区)

## そのほかの報告

- ・ 市ホームページのリニューアル
- ・ 農業者戸別所得補償制度申請状況
- ・ 大館商工会議所会頭の御逝去
- ・ 大館市観光大使の任命
- ・ 秋まつり行事等
- ・ 第22回生涯学習フェスティバル
- ・ 放課後児童クラブの新設
- ・ 総合病院駐車場の拡張工事
- ・ 消防救急デジタル無線整備事業
- ・ 消防団機動分団化事業の消防車配備